



## <定点把握感染症>

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

疾患名	山形県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
	第11週	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)	(46)				(10)			(10)			(4)			(9)			(13)			
インフルエンザ	6379 1.29	80 1.74	27 0.59	▼	8 0.80		▼	12 1.20	6 0.60	▼		1 0.25	△	24 2.67	9 1.00	▼	36 2.77	11 0.85	▼	4143
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)	(30)				(6)			(7)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	768 0.24	9 0.30	8 0.27	▼	3 0.50	4 0.67	△	3 0.43		▼				2 0.33	2 0.33		1 0.13	2 0.25	△	116
咽頭結膜熱	945 0.30	14 0.47	7 0.23	▼	2 0.33	1 0.17	▼	1 0.14		▼	1 0.33		▼	9 ◎1.50	5 0.83	▼	1 0.13	1 0.13		272
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7328 2.31	161 5.37	123 4.10	▼	55 ◎9.17	34 ◎5.67	▼	38 5.43	23 3.29	▼	5 1.67	1 0.33	▼	44 ◎7.33	48 ◎8.00	△	19 2.38	17 2.13	▼	1904
感染性胃腸炎	9090 2.87	98 3.27	65 2.17	▼	24 4.00	16 2.67	▼	9 1.29	6 0.86	▼	3 1.00	5 1.67	△	43 7.17	29 4.83	▼	19 2.38	9 1.13	▼	1612
水痘	1110 0.35	17 0.57	18 0.60	△	1 0.17	1 0.17		5 0.71	2 0.29	▼	3 ◎1.00	2 0.67	▼	3 0.50	7 ◎1.17	△	5 0.63	6 0.75	△	225
手足口病	290 0.09	1 0.03		▼				1 0.14		▼										13
伝染性紅斑	829 0.26	14 0.47	14 0.47		1 0.17	1 0.17		1 0.14	1 0.14					12 ◎2.00	12 ◎2.00					165
突発性発しん	841 0.27	12 0.40	11 0.37	▼	1 0.17	2 0.33	△	2 0.29		▼	1 0.33	1 0.33		5 0.83	4 0.67	▼	3 0.38	4 0.50	△	164
ヘルパンギーナ	55 0.02																			9
流行性耳下腺炎	157 0.05	1 0.03		▼							1 0.33		▼							9
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)	(8)				(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	5 0.01																			0
流行性角結膜炎	189 0.27	3 0.38	1 0.13	▼	1 1.00	1 1.00		1 0.33		▼	1 1.00		▼							31
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)				(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	10 0.02																			0
クラミジア肺炎	1 0.00																			0
マイコプラズマ肺炎	203 0.43	3 0.30		▼	2 1.00		▼										1 0.33		▼	22
細菌性髄膜炎	13 0.03																			2
無菌性髄膜炎	11 0.02																			0

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数  
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

## <全数把握感染症>

疾患名	報告数	備考
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1(山形市1)	
クロイツフェルト・ヤコブ病	1(庄内1)	※第11週追加報告分。
結核	1(置賜1)	※第10週追加報告分。

## <通信欄>

### ※新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイトについて

新型コロナウイルス感染症について、山形県に関連する情報を随時更新しています。下記のQRコードを読みとるか、PDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。



⇒山形県ホームページ

※迅速診断キットによるインフルエンザウイルス陽性件数は、A型:3件、B型:23件、不明:1件です。集団発生の報告は、ありません。

※トピックスでA群溶血性レンサ球菌咽頭炎について掲載しています。

### ※警報・注意報の基準値

疾患	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。



< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ			2	4	3	1	2	7	3		2				27
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		2	3	3											8
咽頭結膜熱			1	2	2		1					1			7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			7	7	19	23	27	18	3	7	7	5			123
感染性胃腸炎		2	11	11	7	7	3	9	1	1	2	9		2	65
水痘			2			3		6	2	3		2			18
手足口病															0
伝染性紅斑				1	1	3	5	2	1		1				14
突発性発しん		6	5												11
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎															0

< 令和2年2月 月報 >

2020年3月18日 発行

疾患名		山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)
		1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	
<b>STD定点</b>	(定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	16	14	6	5	3	2			1	1	6	6	30
	定点当り	1.60	1.40	2.00	1.67	3.00	2.00			0.50	0.50	2.00	2.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	4	5							2	1	2	4	9
	定点当り	0.40	0.50							1.00	0.50	0.67	1.33	
尖圭コンジローマ	報告数		3		2								1	3
	定点当り		0.30		0.67								0.33	
淋菌感染症	報告数	4	2				1			1		3	1	6
	定点当り	0.40	0.20				1.00			0.50		1.00	0.33	
<b>基幹定点</b>	(定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	11	5	4	1				3			4	4	16
	定点当り	1.10	0.50	2.00	0.50				3.00			1.33	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	19	26	1	1	6	8	1	3	1	1	10	13	45
	定点当り	1.90	2.60	0.50	0.50	3.00	4.00	1.00	3.00	0.50	0.50	3.33	4.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													0
	定点当り													

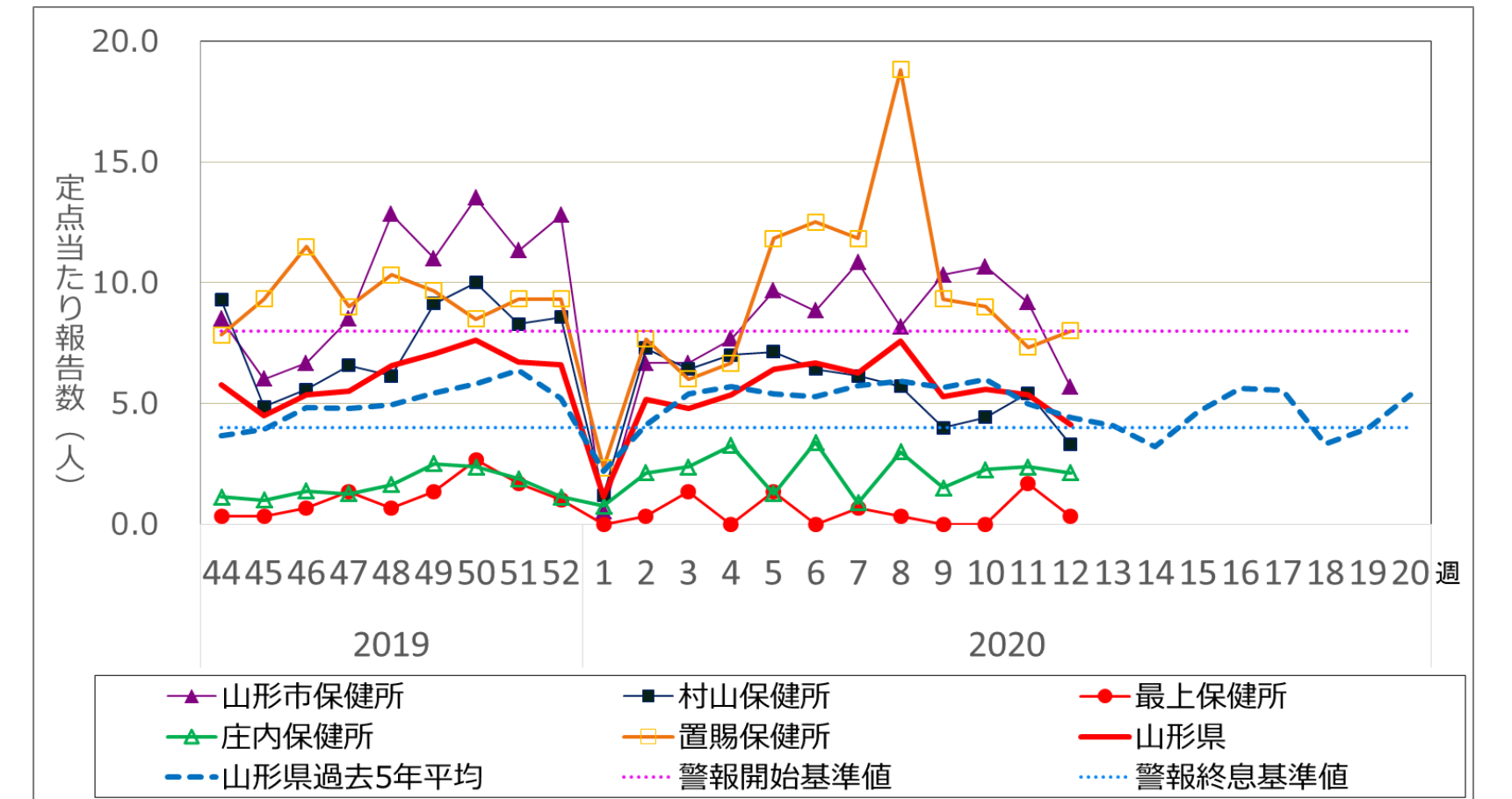
< トピックス >

**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎情報**

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が、山形市保健所管内、置賜保健所管内で警報レベルとなっています。

・第12週 定点当たり報告数 (山形県:4.10人)  
 山形市保健所:5.67人、村山保健所:3.29人、最上保健所:0.33人  
 置賜保健所:8.00人、庄内保健所:2.13人  
 ※警報開始基準値:8 警報終息基準値:4

**・定点当たり報告数の推移 (山形県)**



**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは**

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌による上気道の感染症で、山形県では主に冬から初夏にかけて流行します。

**《症状》**

2～5日の潜伏期の後、突然の発熱(38℃以上)と、喉の赤みで発症します。喉の腫れ、上あごの点状出血や、舌に赤いブツブツが現れる苺舌(写真1)などの症状がみられることもあります。通常、熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。治療は、抗菌剤が有効です。

**《感染経路と予防法》**

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、患者の咳やくしゃみ等のしぶきに触れることにより感染するため、予防には、手洗いや咳エチケット等の一般的な予防法が大切です。



写真1. 典型的な苺舌  
 (国立感染症研究所HPより)